

月刊 サンエスウォッチング Vol.6



Carry ができるまで

2000年代初め、当時は女性の為の自転車製品があまりなく、自転車は今ほど身近なものではありませんでした。

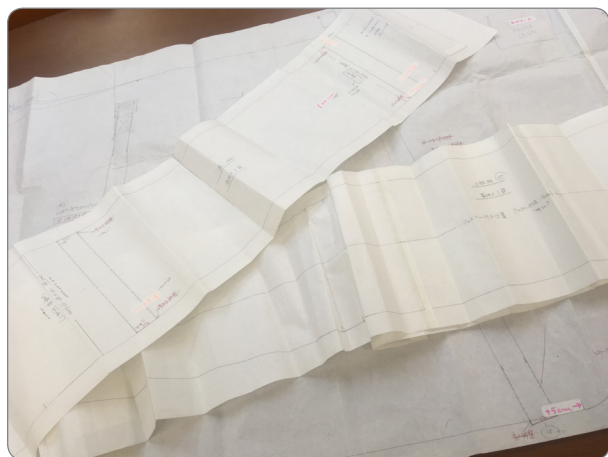
そんな中 2003年に発表した grunge 「FEM サドル」。

「土屋朋子さん」という女性サイクリストのアイデアを一番最初に形にした製品でした。

「走る苦しさに耐えてもサドルから受ける苦しさは黙って耐えるべきものではない」と言う土屋さんの考えのもと作られました。

翌年、「土屋さん」は当時男女問わず敷居の高かった輪行を、もっと身近なものしていきたいという気持ちから『キャリー』の元となるアイデアを持って来てくれました。

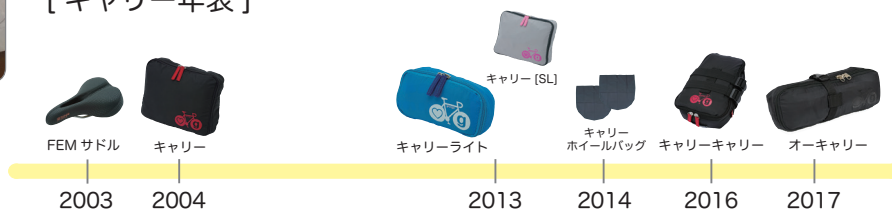
そこから「誰でも気軽に輪行が出来る」をコンセプトにした輪行バッグ『キャリー』の開発が始まっていきました。



土屋さん自ら書き持ち込んで来た「キャリー」最初の設計図（左写真）。
ここから微調整を重ねていくことで、今の「キャリー」の形になっていきました。



[キャリー年表]



【キャリーの使い方】

STEP 1



前後のホイールを外し、自転車を逆さまにしサドルを赤マークの上に置きます。

-ポイント-

ハンドルは約90°回転させておきましょう。



STEP 2



外しておいた前後ホイールを付属のホイールバッグに入れ、フレームを挟み込むように置きます。

-ポイント-

ファスナーを半分近く閉めておくと作業がしやすくなります。

STEP 3



ファスナーを全部締め、持ち上げた時にズれたりしないか確認したら完成です！

次のページでは「キャリーシリーズ」の紹介をしています。